令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　968

事務事業名称		広域処理推進事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　環境部		課:　広域処理推進課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○			
	事業期間	事業開始：　R5年度(2023年度)　～　事業終了予定：　R7年度(2025年度)						
	根拠法令等	地方自治法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方京田辺環境施設組合規約						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	組合規約の変更に係る総務省許可を令和7年度初旬に受け、組合が新施設と東部清掃工場焼却施設の管理運営に向け準備作業を進め、令和7年度末からは両施設を適切に管理運営している状態						
	対象者(受益者)	枚方京田辺環境施設組合						
	現状・課題	組合規約の変更に係る総務大臣許可を受けなければ、新施設及び東部清掃工場焼却施設の管理運営が開始できない。						
	事業の概要	組合規約の変更は総務大臣許可となることから、大阪府及び京都府との協議や京田辺市との調整事項等に対応するため、構成市間において両市長を含む協議体制を整え、当該事業を円滑かつ効率的に実施する。						
	年間の主な事務	・可燃ごみ広域処理に係る構成市打合せとして、「広域処理推進会議」を開催(月例開催) ・「広域処理推進会議」の前段として、実務担当レベル会議である「広域処理準備会議」を開催(適宜開催) ・京田辺市との市長協議、部長協議を行う(適宜開催) ・大阪府、京都府、総務省と組合規約の変更手続きに係る調整等を行う(適宜実施) ・可燃ごみ広域処理に関し、庁内関係部署・庁外関係機関との連携・調整等を行う(適宜実施)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	3.50人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	26,908	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		26,908	—	—	—		
	物件費計		0	—	—	—	0	0.0%
歳出計			26,908	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	構成市間における課題解決に向け、京田辺市並びに大阪府及び京都府との担当者レベルでの協議の後、両市長を含む合意形成を行う。（広域処理推進会議の開催回数）	回	12 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	枚方京田辺環境施設組合による枚方市・京田辺市の可燃ごみの共同処理開始に向けた同組合規約の変更を行うため、京田辺市及び大阪・京都両府との事務レベル協議及び、枚方市・京田辺市両市長を含む推進協議会における協議を行うことで、規約変更内容についての合意形成を完了し、両市議会の議決も得て、総務省への変更申請を行うことができた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R7年度取組方針	新施設と東部清掃工場焼却施設を令和7年度末から適切に管理運営するため、京田辺市並びに組合と必要な協議、準備を行う。	R7年度方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
		現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　969

事務事業名称			広域処理推進課運営事務					
担当部署(R7年度機構)			部:　環境部	課:　広域処理推進課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
						—			
	事業期間		事業開始：　R5年度(2023年度)　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等		決裁						
	関係附属機関等		該当なし						
	関係補助金等		該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態		日常業務を正確かつ迅速に処理することにより、適切かつ適正な運営が図れている状態。						
	対象者(受益者)		広域処理推進課職員						
	現状・課題		課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要		課の運営業務						
	年間の主な事務		・庁内照会回答事務 ・広報関係事務 ・東部資源循環センター—イベント事務(企画及び運営補助) ・市議会関係事務 ・その他庶務関係事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.50人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	3,844	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		3,844	—	—	—		
	物件費計		0	—	—	—	0	0.0%
歳出計			3,844	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	課内の運営及び庶務事務等の日常業務について、適正かつ迅速に遂行した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、日常業務を適切に執行することにより、適正かつ迅速な運営を図る。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	―	―	―